

Tidal Enterprise Scheduler : Windows のエージェントの agent.ini ファイル

目次

- [概要](#)
- [前提条件](#)
- [要件](#)
- [使用するコンポーネント](#)
- [表記法](#)
- [設定](#)
- [関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Windows Agent の agent.ini ファイルの設定情報を紹介します。

前提条件

要件

Windows エージェントはインストールされ、はたらかますでありエージェント\binディレクトリのファイルを編集し、作成する権限がなければなりません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Tidal な Windows エージェントに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

通常、Windows エージェントのための起動時のパラメーターは Windows サービス マネージャで Windows エージェント パス行で入力されます。これらのパラメータは agent.ini ファイルにファイル (x86)\TIDAL\Agent\Bin) Windows エージェント binディレクトリ (例えば、C:\Program

で存在 すること直接追加することができます。

agent.ini ファイルを作成するか、またはアップデートするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Windows エージェントを稼動するシステムへのエージェント オーナーとしてログイン。
2. コンフィギュレーション ファイルが含まれているエージェント\binディレクトリに行ってください。たとえば、\プログラム ファイル (x86)\TIDAL\Agent\Bin。
3. 存在 するそれが既存の agent.ini ファイルをバックアップすれば。
4. テキストエディタの agent.ini ファイルを開いて下さい (たとえば、Notepad)。
5. 少なくとも、ファイルはこれら二つの行が含まれているはず:

```
[config]
```

```
[AgentName]
```

AgentName が作成されるエージェントの名前であるところ。

6. 復帰改行文字に起動時のパラメーターを追加して下さい[AgentName]。たとえば、デバッグを有効に するためにこれらのパラメータを追加して下さい:

```
Verbosity=Tidaldebug
```

```
Debug=Yes
```

注: 追加パラメータを追加するためにこのステップを繰り返して下さい。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)